

令和7年度 部長目標宣言シート

健康福祉部

No.	部長目標宣言		課名	課長目標宣言	成果指標			事務事業名
					指標名	現状値	目標値	
①	障がいがあっても地域で自分らしく自立した日常生活を営めるよう、 障がいのある人の社会参加の促進や生活基盤の強化 に取り組みます。		社会福祉課	障がいのある人の生活環境の向上や就労支援の充実を図るとともに、障がい福祉サービス事業所等の担い手不足解消にも取り組みます。	日常生活用具給付決定者数(人工呼吸器等用非常電源設備)	－	13人	身体障がい者(児)日常生活用具給付事業
					企業での障がい者雇用者数(就労継続支援事業所等から一般就労への移行者数)	9人 (R6見込)	11人	障がい者雇用促進事業(地域生活支援事業)
					就労継続支援B型事業所の工賃月額平均	19,700円 (R6見込)	19,800円	作業受委託マッチング支援事業
					市内障がい福祉サービス事業所等において正職員数が充足していると回答した割合	－	80.0%	障がい福祉事業所職員表彰事業
	中間評価			障がいのある人の重度化や高齢化、「親亡き後」などを見据え、地域全体で支える体制づくりを推進します。	福祉施設や精神科病院から地域生活への移行者数(地域移行支援の支給決定実人数)	2人	2人	地域生活支援拠点等事業
	最終評価				地域生活支援拠点等整備事業の利用登録者数	15人 (R5～累計)	38人 (R5～累計)	
②	生活困窮者等の早期発見に注力 し、関係機関と連携し、自立に向けた包括的な支援を行います。		社会福祉課	フードバンク活動の支援及び連携強化のため、フードドライブ＋(プラス)をさらに充実させ、ひとり親世帯や生活困窮世帯など、支援を必要としている世帯にフードバンクを通じて食品や生活用品を配布します。	フードドライブ＋(プラス)で集めた「食品」を市内フードバンク等へ寄附した量 ※随時寄附含む	1,966kg (R6見込)	2,200kg	フードドライブ＋(プラス)事業
					フードドライブ＋(プラス)で集めた「生活用品」を市内フードバンク等へ寄附した量 ※随時寄附含む	370kg (R6見込)	400kg	
	中間評価			生活に何かしらの問題や課題を抱えた世帯が、関係機関とつながりを持つことができるよう、相談支援や連絡調整を行うほか、ハローワークの就労支援ナビゲーターと連携し、早期に就労自立できるよう支援を実施します。	生活困窮者自立支援事業相談件数	76件 (R6見込)	76件	生活困窮者自立支援事業
	最終評価				就労決定者数	2名 (R6見込)	3名	
③	高齢者が住み慣れた地域で社会参加や安心して暮らし続けていける よう、長寿を祝う新たな敬老事業を実施するほか、地域包括支援センターの周知及び相談体制の強化と在宅福祉サービスの充実を図ります。		長寿福祉課	対象年齢や贈呈品等を見直した新たな敬老事業を実施するほか、聞こえが悪い方の円滑なコミュニケーションをサポートするため、長寿福祉課の窓口に、軟骨伝導イヤホンを設置し福祉サービス向上に努めます。	米寿をお祝いする会参加率	－	30%	新たな敬老事業(敬老事業)
					市民意識調査における「高齢者福祉の充実」の満足度	53.4%	53.4%	窓口への軟骨伝導イヤホンの導入(一般経費)
	中間評価			地域包括支援センターが複雑・複合化する相談に対応できる体制づくりと高齢者の身近な相談窓口としての周知に取り組みます。	地域包括支援センター新規相談件数	690人 (見込)	710人	地域包括支援センター業務委託(包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費)
	最終評価				地域包括支援センター相談対象者実人数	2,709人 (見込)	2,800人	
④	介護職員等の経済的負担の軽減や介護認定審査会の効率化を図り、 介護事業を支える人材の確保や定着、介護認定審査会のDX を推進します。		長寿福祉課	介護職員等の経済的負担の軽減を図り、介護人材の確保や定着支援を推進するとともに、介護認定審査会のペーパーレス会議システムを試行導入し、介護認定審査事務のさらなる効率化を図ります。	市内介護サービス事業所における若手(39歳以下)の新規採用者数	58人 (R6.9.1現在)	60人	介護人材奨学金返還補助金(介護人材確保育成事業)
					市内介護サービス事業所が介護人材が不足していると答えた人数	60人 (R6.9.1現在)	55人	
	中間評価				審査会に係る経費のうち消耗品費(コピー用紙・コピー代)及び通信運搬費の合計額	816千円 (R6予算)	721千円 (95千円削減)	介護保険認定審査会DX事業(介護認定審査会共同事務費)
	最終評価				審査会資料の印刷、製本、発送に係る事務作業の合計時間(導入2合議体の6カ月分)	42時間	6時間 (36時間削減)	

令和7年度 部長目標宣言シート

令和7年度 部長目標宣言シート

No.	部長目標宣言		課名	課長目標宣言	成果指標			事務事業名
					指標名	現状値	目標値	
⑤	高齢者が地域社会の一員としてつながりを持ち、豊富な知識と経験を活かしながら、いきいきと活躍できるよう、活動の場や機会づくりを積極的に推進します。		長寿福祉課	高齢者が希望する活動と就労的活動の場を提供できる市内介護事業所とのマッチングを行うため、関係機関と連携し「就労的活動支援コーディネーター」を配置することで、高齢者の生きがいの充実や社会参加の促進を図ります。	シニアNEXT人材バンク登録者数	－	70人	シニアNEXT人材バンク整備事業（生活支援体制整備事業費）
					マッチング件数	－	120回	
	中間評価			タブレットを使用した脳体カトレーニング(コグエボ)を導入し、短期集中型「健康教室」(通所型サービスC)や各種イベント等で活用することで、利用者の認知機能を測定、経時変化を見ることにより効果検証し、継続的な介護予防に努めます。	コグエボ利用後のアンケートで「またやりたい」と回答した割合（通所型サービスCやイベントの参加者）	－	90%	介護予防システム導入委託(介護予防・生活支援サービス事業費)
	最終評価				通所型サービスCで継続してコグエボを利用した人で「5種のバランスチェック」結果が維持改善した人の割合	－	75%	
⑥	「磨け！輝け！元気プランつばめ」を推進し、幅広い世代の健康増進に向けた環境整備に努めます。		健康づくり課	定期的に検診を受ける必要性を理解し、自分の健康を自分で管理できる人を増やすため、働き盛り世代が受けやすい検診体制を整備します。	対象年齢(50～68歳の偶数年齢)における 胃がん検診受診率	4.5%	4.6%	胃がん検診における内視鏡検査導入事業
					胃がん検診精検受診率	88.0%	90%	
					41歳以下子宮がん検診受診率	24.7%	25.5%	女性の健康づくり応援事業 ・トータルヘルスケア健診 ・プレコンセプションケア健診
					41歳以下乳がん検診受診率	24.9%	25.5%	
	中間評価		健康づくり課	健康づくりマイストーリー運動を推進し、健康づくり事業に参加するなど、自分らしい健康づくりに積極的に取り組む市民の増加に向けて、事業の充実を図ります。	健康づくりマイストーリー運動参加者数(延べ数)	16,994人	17,500人	健康づくりマイストーリー運動合併20周年記念健康フェスティバル
	最終評価							つばめ元気ががやきポイント事業
⑦	带状疱疹の発症予防と重症化予防を目的に、経済的負担の軽減を図り、ワクチン接種を受けやすい体制づくりを行います。		健康づくり課	带状疱疹の発症および重症化を予防するため、带状疱疹予防ワクチン任意接種の費用助成を継続するとともに、対象者を拡充して実施します。	18歳～60歳までの任意接種実人数(R6接種しなかった人なので減少)	229人(満50～60歳)	100人	带状疱疹任意接種費用助成事業
	中間評価							
	最終評価							
⑧	国民健康保険・後期高齢者医療制度の被保険者の健康増進のため、特定健診・健康診査の受診率の向上に努めます。		保険年金課	国民健康保険・後期高齢者医療制度の被保険者の健康増進を図るため、特定健診・健康診査の受診率向上に取り組み、保健指導及び早期治療につなげます。そのため、健診未受診者に対して、効果的な受診勧奨案内を通知することで受診を促します。	特定健診受診率	47.3%(R6速報値)	48.3%(+1.0%)	特定健診受診率向上事業(特定健康診査等事業費)
	中間評価				後期高齢者健診受診率	23.8%(R6速報値)	28.8%(+5.0%)	後期高齢者健診受診勧奨事業(後期高齢者医療広域連合運営費)
	最終評価							